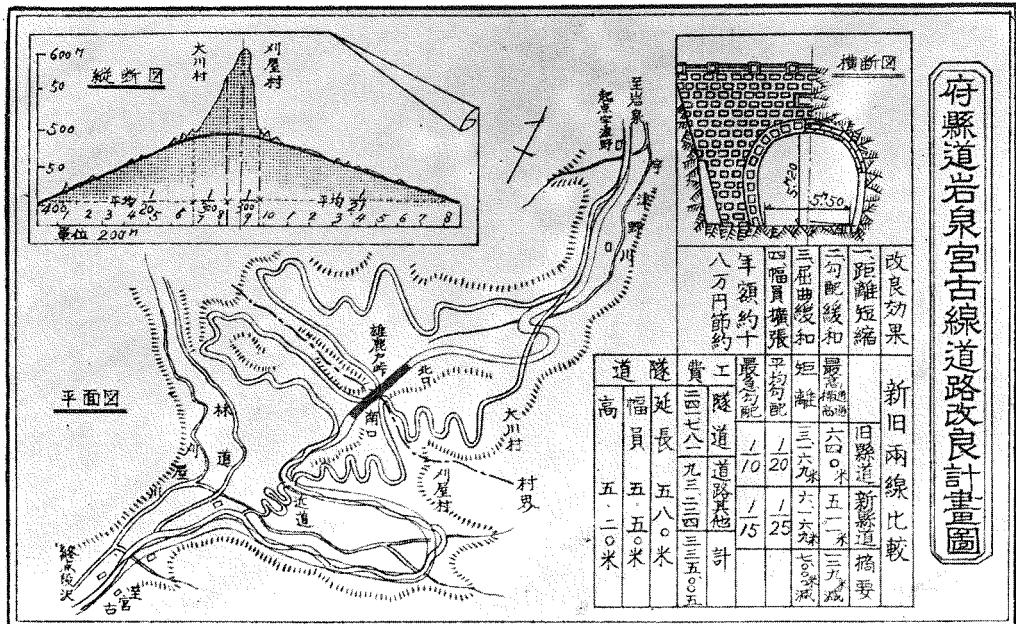




## 雄鹿戸隧道開鑿工事

岩手縣土木課長

上野節夫



岩手県下閉伊郡の郡北7個町村と郡南18個町村を結び、更に九戸郡々南地方の開発道として久しく待望せられてゐた岩泉宮古線の雄鹿戸隧道は頗る難工事であつたが、昭和8年の日子と33万餘の工費を以て過般竣工し、同地方の産業開発上大いなる利便を與へることになつた（編者）

**位置** 指定府県道岩泉宮古線（岩手県下閉伊郡刈屋、大川村地内）

**工事概要** 断面3心圓の直線隧道で、その延長580米、兩口より300分の上り勾配になつてゐる。掘鑿は低設導坑式により全部手掘で進み、礫の運搬には12ボンドレールを敷設、手押トロを使用した被覆工は側壁部を場所詰コンクリート

とし、拱部はコンクリートブロックで捲立てた。

セメント、砂及び其他工事用材料の運搬はフォード8氣筒貨物自動車2臺により、木材は移動製板機2臺を使用して供給した。

**工期** 昭和8年9月6日に着手し、昭和10年5月19日竣工、約1年8ヶ月を要した。

**工事關係者** 設計及監督岩手県道路技手留目巳之松氏、請負者工藤定治氏。

**視察道順及名所** 山田線茂市驛下車岩泉町に至る途中、岩泉町鍾乳洞、閉伊川、小本川の溪流、閉伊山の紅葉。